

BUNZOU単品カタログ	用途：カビ・苔除去剤 pH：アルカリ性 規格：／4ℓ／20kg
ベルモット	特徴：濃縮カビ除去剤＋洗浄カプス(非劇物) 効果指数 ★★★★★★★☆☆

概要

浴場・浴室内のカビ除去では、次亜塩素酸ナトリウム(漂白剤系)を使用します。通常の市販されているカビ除去剤は、次亜塩素酸ナトリウム6～7%が多く、洗浄成分は配合されていないものが通常です。ベルモットは次亜塩素酸ナトリウムの配合率が通常の3倍以上あり、加えて洗浄力がプラス配合されています。カビの表面を覆っている汚れの層を洗浄分解し、中に隠れたカビまで浸透します。

3倍で希釈して通常のカビ除去剤の同等以上の効果があり、コスト面でも大幅に軽減できます。



落ちる仕組み

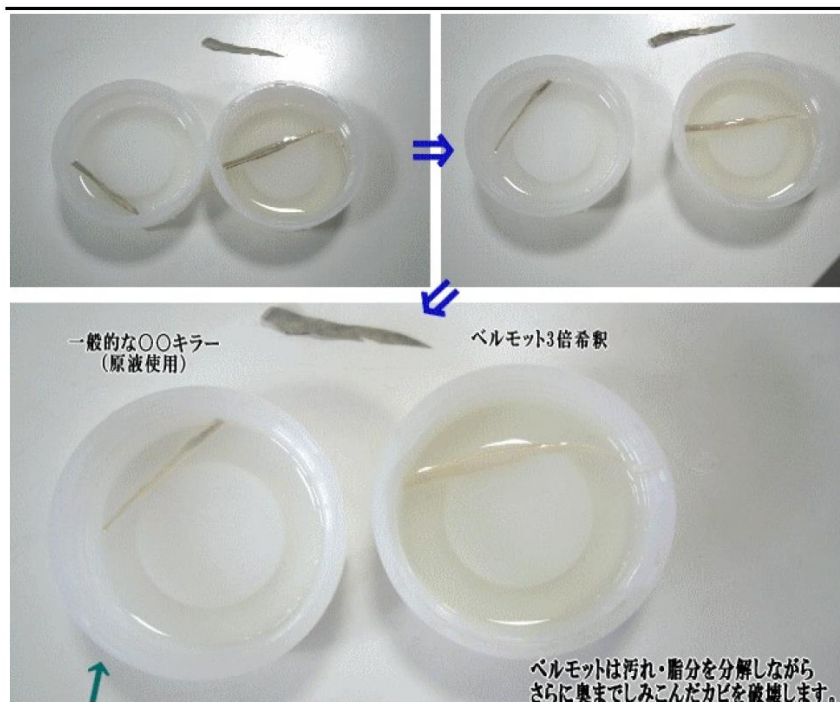
洗浄力と殺菌力が弱まる事の無い様に塩素濃度とアルカリ濃度を高め3倍希釈で使用できます。

大浴場、露天風呂にジョウロで散布するだけで脂垢、黒カビ、青藻、バクテリア類のヌメリを除去します。

週1～2回定期的に散布することによりレジオネラ属菌、アメーバ等の微生物を殺菌し清潔な環境が保てます。苔には散布後、5～10分程度時間をおき、洗い流すと簡単に除去できます。

【天井、壁面の黒カビ、青藻の防止】

噴霧器(4～5L)に1Lを入れ水で薄めて散布します。6ヶ月程度発生はしません。



浸け込み比較

浴室内でカビが付着したガンコなゴムパッキンは、なぜ落ちないのだろう？

ゴムをスライスしてカッティングしてみると、ゴムの中までグレー色に！いくら漬けてみても完全に落ちない理由は、ゴムの中まで入り込んだ事により、カビ取り剤が浸透できないからです。ベルモットの力をもってもゴムの中に浸透させるにはカビが浸透した時間と同じ時間漬けてみなければならぬ...

そんなゴムパッキンを細く切り、代表的なカビ取り剤とベルモットの3倍希釈液で漬けてみ、カビ除去能力の比較を行ってみた結果、左のような結果になりました。

ベルモットの方がカビの黒さを残さずに分解洗浄できました。

(下画像)は一般的になユニットバス。天井・壁面に掛けて発生したカビにシャルドネ泡スプレーしたものです。

ベルモット⇒無発泡
シャルドネ⇒発泡性あり

